

# JICAにおける自動車整備士育成 これまでの取り組みと今後

2021年6月18日

JICA社会基盤部運輸交通グループ

第三チーム課長 小野智広

# 「選ばれる日本へ」

## 外国人材の受入れ・共生社会の実現にむけて

日本の生産年齢人口(15~64歳)が急激に減少する一方、2019年10月末の外国人労働者は165万人と過去最高を記録(厚生労働省)。しかし、今後はアジア諸国でも高齢化が加速する。長時間労働や人権侵害など、外国人労働者に関して様々な問題が顕在化する中、今後も働く場として外国人にわが国は選んでもらえるのか。法務省出入国在留管理庁の佐々木聖子長官と、国際協力機構(JICA)の北岡伸一理事長が、外国人材の受入れと共生社会の実現をテーマに対談した。



国際協力機構(JICA)  
北岡 伸一理事長



法務省 出入国在留管理庁  
佐々木 聖子長官

### 外国人に寄り添った仕組みと環境 能動的に変化していくことが大切

**佐々木** 日本では長い間、専門的・技術的な外国人材は積極的に受け入れる一方、それ以外は国民のコンセンサスを博した上で考え、いくという方針を続けてきた。それが特区制度を活用した家事支援人材や、国内の建設需要に的確に対応するための労働者の受入れなど、より幅広い人材を受け入れるように変化してきた。2018年12月には、入管法の改正で在留資格に「特定技能」を創設し、資格範囲を拡大した。また昨年4月に出入国在留管理庁が誕生し、外国人の在留支援と外国人の受入れ業務の整備を新たに行政機能として追加した。入り口と、受け入れた後の日本社会の在り方まで総合的に考えていくことが、いま私たちには求められている。

**北岡** 特定技能制度ができ、出入国在留管理庁が創設されたことは画期的である。1980年代から外国人労働者をもつと

前に入国管理行政の仕事にはなかった感覚・意識が必要であり、チャレンジングな使命であると感じている。とはいえ、私たちには先遣がある。外国人を住民として受け入れる。外国人を住民として受け入れてきた地方自治体の存在。中南米を中心に日系人を多数受け入れてきた自治体など、先遣が積み重ねてきた苦労とノウハウを、私たちはいま学んでいるところだ。私たち出入国在留管理庁はもちろん、日本社会全体が、外国人とともに幸せになれる共生社会に向け、きちんとした展望を持って上で能動的に変化していくことが大切だ。

### メニューをそろえた総合的対応策 JICAの強みを生かす

**北岡** 多様性は力だと私は思っている。新しい発想は閉じた社会からは生まれにくい。その意味でも、多様な人々に日本へ来てもらうことが重要だ。しかし、高度経済成長期とは異なり、世界における日本の経済的な存在

懸念がある。ホストになる人、外国人の現場で活躍だ。

**佐々木** 入れ・共生の態で改訂された「共生の策」には、今91の施策が、だし、現状でに向けたメニュー。本社会というの話を、外研する家の、心地の話と、考えていく必要の受入れ環境

### 動き始 国際交

**北岡** 先日、外国人材をRESCを所のイメージを明らして機動だ。本来、行じて設置運営いったん組織化してしまおうRESCは複1カ所に集めるに際してワンできる体制を感心した。

### 佐々木

が結果できて来たときに効果ができる。る社会インフ目一番地の重RESCを今さすていく考り強うのが新冒頭で申し上げ海外協力隊イメージとして情に連じ、コ取の取り方も熟ちであり、専いをしてもらる。活躍の場

### 日本社 バック

**佐々木** 外共生社会の在まきに日本社の一部をな感えた人の動

外国人材 → Why JICA?



- ・96か所の海外拠点、開発途上国との幅広い人脈
- ・約38万人の途上国研修員の受入れ実績

自動車整備 → Why JICA?



途上国の整備士ニーズ

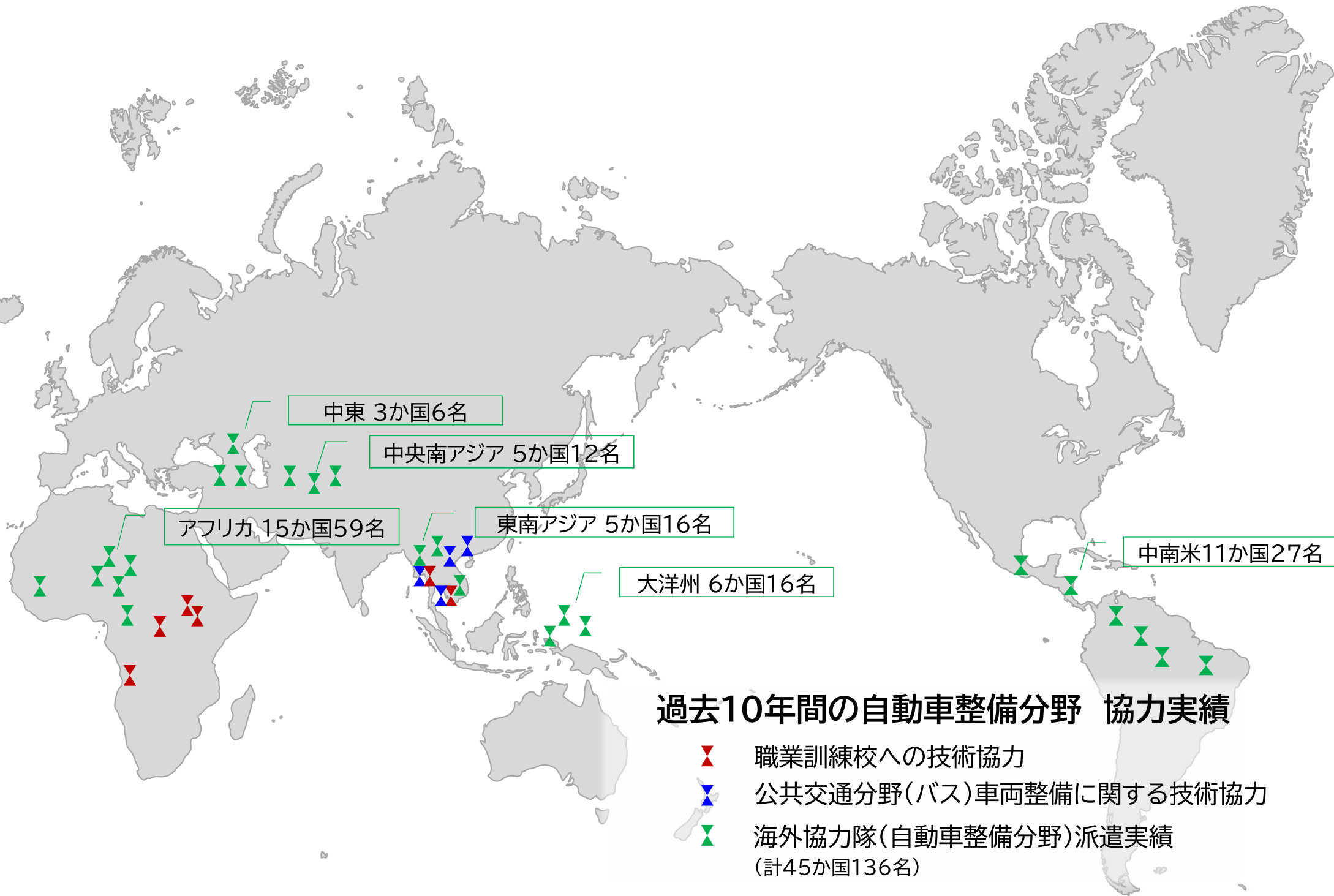


JICAのノウハウ・経験の蓄積

# JICA自動車整備分野の取組

～実績～







## ミャンマー TVET質的向上プロジェクト

※TVET=職業・技術教育訓練（日本ミャンマー・アウンサン職業訓練学校）




ウガンダ 産業人材育成体制強化支援プロジェクト  
(ナカワ職業訓練校)




カンボジア 認定自動車整備士養成e-Learning  
プログラムの導入に関する普及・実証事業  
(ポンペンNPIC職業訓練校)

# カンボジア プノンペン公共バス運営改善プロジェクト (プノンペンバス公社)



A man in a white t-shirt is focused on working on a red engine component. In the background, another man in a striped shirt is also working on a similar component. The scene is set in a workshop or garage.

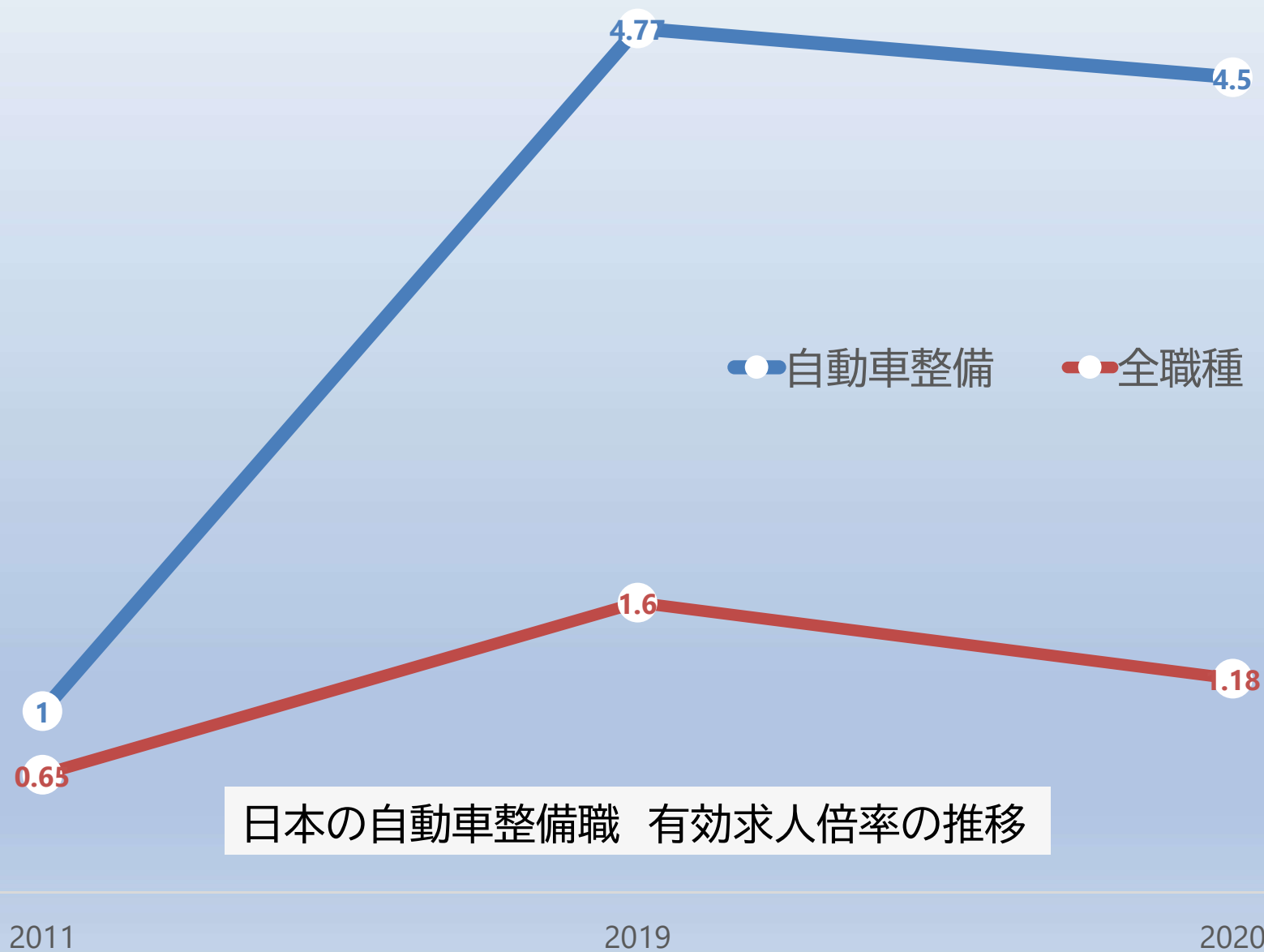
「国際協力もいいけど国内もどうにかしてほしい。」

A blue bus is parked on a concrete surface with its rear hatch open. A man in a dark t-shirt and jeans is crouching in front of the bus, using a tool to work on the ground. The bus has a green license plate with the number 2-1242.

双方Win-winの状態に  
持っていけないか。

JICA事業への日本の協力事業者の声

# 日本国内の状況(後継者不足、人材不足)



日本の自動車整備職 有効求人倍率の推移

# 日本国内の状況(後継者不足、人材不足)

【現状】

自動車整備を目指す人材  
・主に日本人、留学生

【今後】

自動車整備を目指す人材  
・主に日本人、留学生 +  $\alpha$

ディーラー × 都市部

専業 × 都市部

ディーラー × 地方(地元)

自家 × 地方

専業 × 地方

不人気エリア

充足せず

ディーラー × 都市部

専業 × 都市部

ディーラー × 地方(地元)

自家 × 地方

専業 × 地方

制度上なかなか活用されていない技能実習や特定技能での来日を推し進めることが必要



# JICA自動車整備分野の取組

～これから～

# 自動車整備分野 外国人材育成・還流サイクルに向けた環境整備

現地での教育・指導の強化

帰国後の就労環境の整備

現地



JICAが協力実績のある職業訓練校等からの送り出し

「JICA研修」の機会提供



日本



外国人材向けの教材整備

受け入れ事業者向けの教材整備

国内連携の推進

車両メーカー

関連事業者

国交省自動車局

自動車整備  
専門学校

自動車整備  
振興会

# 責任ある外国人材受け入れ 「自動車整備分野」JICAの支援メニュー(案)

	来日前 ＜優良人材の供給体制強化支援＞	日本滞在中 ＜「第三の開国」 共生社会構築支援＞	帰国後 ＜途上国への開発支援＞
短期	<ul style="list-style-type: none"> <li>●国内での連携強化 ～自動車整備分野における外国人材の活用をめぐる各種課題の共有・議論</li> </ul>	<p>責任ある外国人材受け入れプラットフォーム 「自動車整備分科会・勉強会」</p> <p>～共生社会推進・事例共有セミナー</p>	
中期	<ul style="list-style-type: none"> <li>●現地教育の強化               <ul style="list-style-type: none"> <li>～教育訓練機関や技術協力プロジェクト実施機関の教育強化</li> <li>～自動車整備技能育成の共通テキスト、カリキュラムの整備</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●受入れ事業者側の負担軽減               <ul style="list-style-type: none"> <li>～JICA研修の提供</li> <li>～自動車整備 x 日本語教材 整備</li> </ul> </li> <li>●外国人材のキャリア形成               <ul style="list-style-type: none"> <li>～外国人材向けの教材整備</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●帰国後の現地での就労環境整備               <ul style="list-style-type: none"> <li>～「整備士資格」の認知向上</li> <li>～日系自動車整備事業者への就職支援</li> </ul> </li> </ul>
長期	<ul style="list-style-type: none"> <li>～海外協力隊の要請取付け・派遣</li> <li>～海外協力隊の継続派遣</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>～1級整備士養成課程(専門学校)への留学支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>～現地の車両保守管理制度の整備 (車両認証制度、整備事業者認証制度、車両登録システム)</li> </ul>

# 向こう3年でJICAが取り組む内容(案)

	来日前 ＜優良人材の供給体制強化支援＞	日本滞在中 ＜「第三の開国」 共生社会構築支援＞	帰国後 ＜途上国への開発支援＞
短期	<ul style="list-style-type: none"> <li>●国内での連携強化 ～自動車整備分野における外国人材の活用をめぐる各種課題の共有・議論</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>責任ある外国人材受入れプラットフォーム 「自動車整備分科会・勉強会」 ～共生社会推進・事例共有セミナー</li> </ul>	
中期	<ul style="list-style-type: none"> <li>●現地教育の強化 ～教育訓練機関や技術協力プロジェクト実施機関の教育強化</li> <li>～自動車整備技能育成の共通テキスト、カリキュラムの整備</li> <li>～海外協力隊の要請取付け・派遣</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●受入れ事業者側の負担軽減 ～JICA研修の提供</li> <li>～自動車整備 x 日本語教材 整備</li> <li>●外国人材のキャリア形成 ～外国人材向けの教材整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●帰国後の現地での就労環境整備 ～「整備士資格」の認知向上</li> <li>～日系自動車整備事業者への就職支援</li> </ul>
長期	<ul style="list-style-type: none"> <li>～海外協力隊の継続派遣</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>～1級整備士養成課程(専門学校)への留学支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>～現地の車両保守管理制度の整備 (車両認証制度、整備事業者認証制度、車両登録システム)</li> </ul>

# ありがとうございました

